

自由意見

女性は妊娠、出産の時に一時的にでも仕事を離れなければならない。男性は妊娠できないのでそれは仕方ないけれど、誰でも育児、介護、自身の病気などで今まで通りの働き方ができない可能性がある。そのような時でも仕事を継続できたり、それぞれの状況に応じた働き方ができる社会になればと思う。女性らしさ、男性らしさは確かにあると思うけれど、それを固定観念として持たず、個性やその家族に応じた役割分担ができればと思う。家庭でも職場でもコミュニケーションを取りながら、その人らしさが尊重されるようになればよいと思う。

社会において、まだまだ男尊女卑のような考えが根強く残っていると思います。次世代の若い人たちが安心して暮らせる社会が少しでも早くやってくることを望みます。

まずセクハラ対策。窓口を作ってください。その男を訴えられる、もうできない、悪い事をしたと反省させる思いをさせてほしい。どんなに働けど、その問題で女性は傷つきます。そういう男はわかっています。犯罪であると言う事、その後私たち女性が、普通の男の人までもに恐怖を感じてびくびくしている事。新聞にもテレビにも出て、その男たちが苦しみを覚えればと日々思っています。なぜ、真面目に働き、小さな会社へしがみつき母子で生きている私たちが苦しむのか、悲しい世の中です。まだまだ日本は変わっていません。

共同参画と言うより、女性は男性に比べてコミュニケーション能力に長けています。この能力は社会参画にとって最も重要なことであり、積極的に参画してもらいたいと思います。

今の日本では、まだまだ男性の方が有利に進んでいると思います。女のくせにとか、女は家事を全面的にやるべきとか、若者より中年、老人に多いと思っております。私は、農村に住んでおりますが、色の面で多々男尊女卑の思いがあると思います。子供を産むという大切な役割があるんですから、職場の女性(既婚)は頑張っていたきたい。

今は男女平等などで人と人とのつながりにかけてきているのでスポーツ、いろいろな人とのつながりが出来る事をしていた方がいいと思います。

女性は社会進出を考える意識の向上を日頃から持ち学習を進める。男性は女性の実力を認めるような人材を育てあげる教育要、特に品位が必要。

責任が誰が取るのかなどが、今全体の方々誰も取らないで、うやむやになっている様な気がするので国とか県、市、町村でしっかりと話し合っ住みやすい日本国市を作って頂けるとうれしいですね。

「共同参画」という言葉は聞きやすいが、女性の先輩が役所、学校職員、企業で上司となって一緒にやっていくことが難しかったのだと思う。また、女性もそういう立場につくことを引いてしまってきたのでは。地域でも女性が重要な位置でやっている方もいるので、そういう人に、こういうようにやってできたという報告を聞かせてもらったら、とかく「女のくせに」という男社会の追放でしょうね。

1日5時間程度の時間の仕事があれば子供のいる女性でも働きやすいと思います。

日本は他の先進国の中でも男女間の格差がとても大きいと思う。安心して子供を産み働きやすい社会になってほしいと思う。託児所、学童保育の充実、介護の充実を強く願う。

互いに意識改革をしてコミュニケーションを計る。主動と補助をわきまえる。自我を抑えて互譲の精神に徹する。

アイターンで移り住んだものとして、まだまだ理不尽なものの考え方をされる方が地元の人に多く見られます。慣習といった面で、多くの方が改善しようとしているなか、2、3人で反対するケースがあります。個人の考え方、地域の習慣等それを変えていくのは容易ではないと感じます。

共働き世帯であるが、家事については妻にまかせる部分が多い。お互いに得意なこと、不得意なこと(性別的にも)があるので、得意なことを活かしながらコミュニケーションを取りながら、生活していきたいと思う。

一番大事な事は、子供の頃よりの教育と家庭生活だと思います。制度等を作っても、中身が充実しない人それぞれの立場があるし、まだまだ年数がかかるでしょう。

私達(60代)の時代には男女共同参画など程遠く、まだ女性が男性の下という見方が高かったように思います。「自分らしく」を社会の表には出せず、目上の方々の方針に従った仕事だったと思います。そのような時代～新たな時代に目を向け始めたそんな節目(男女平等)でした。現代も女性蔑視のような社会がまだ抜け切れておられないと思います(特に田舎では)その反目、女性が少々強くなり、男性が委縮し、又女性に良く見られたいという願望も見てとれますが、、、。男社会(仕事)の中に女性も入って来ておりますが、まだまだ(現代において)少なく思います。男女平等大変賛成ですが、人の大切さとあらゆる物事への責任をもっと聞くべき時代だと感じ入っております。乱筆ですみません！

男性、女性すべて平等というのは、おかしいと思う。男性には、男性にしかできない事あり、女性には女性にしかできない事あり。お互い協力して生活していくのが一番良いと思う。

男でも女でも、自分で出来る事をやれば良くて、出来ない事は手を出すな。自分の能力以上の事は出来るはずがない。

男女共同参画の委員会の長が男性である会があるが、女性にすべきである。女性にある委員の依頼に行くと、女性だからと断る人がいることではだめと思う。

高齢になると不安は色々ありますが、健康と趣味を楽しんで生きて行きたいと思っています。

固定観念のある中高齢者に今さら男女平等だとか男女共同参画に賛同せよと言っても無理な話だと思う。小学校からの学校教育で徹底して、教えるべき。そして何よりもまずは旗振り役の行政組織から完全平等をめざして(北欧のように)変わるべき。その際「女性はそうは言っても結婚して辞めるからなあ」とか「子供が病気だと言って、職場を離れる人に責任のある地位をまかせられないから」とか言うようでは、全く何も変わりません。

人権的には男女平等になりつつあると思います。でも男と女は「違い」が本来あるので、お互いに認め合い助けあっていけばいいと思います。男女共同参画には、相手を思いやれる気持ち等、人としての教育があつての物だと思っています。

男性が思いっきり仕事出来るように女性がサポートするのが理想的な家庭だと思います。全ての面に於いて男女共同参画の実行は難しいと思います。高齢になった今では、元気でいる事、地域活動には興味を持つ事くらいです。

私は70代ですが、子供の頃より男女共同参画のようなものでした。男は外に働きに出ても女は子供の教育、又田畑での作業。特別のんびりした日はやはり皆の休みの日曜日でした。最今の男女再画とは意味が違ふと思いますが、現存では女性も役が与えられるという事。でもその役はやはり男性の方が多いと思っています。これは私の働いていた頃経験した事です。

男＝女ではない。同等とは同じ事をする事ではないはず。男らしさ、女らしさを充分に発揮できる場で、互いにそれを認め合う事が、平等で同等というのではないのでしょうか。女性が子供を産んで、子育てに安心して有意義に生活できず、社会からとり残された感を持たせる様な方針はおかしい。

ジェンダーフリー思想の悪い温床になっていると思う。

少子化は男女共同参画にも原因があると思っています。両立(男女共同参画の推進と少子化改善)できることを願います。

同じ目標に向かっている存在、団体、組織であれば、男女の区別はそこまで問題にならない。

この様なアンケートが何かの役に立つとはあまり思えません。ムダな様な気がします。他に方法はなかったのでしょうか？

男女共に働き行き着くところは地域崩壊。女の専門職、男の専門職とはっきりさせる事。女性には女性の働き方があると思う。男性にも共に協力して行く方が良い。政治に向く女性も居ると思うが、男性議員さんも昼寝をしている様な人も困る。税金の使い道使い方もかっこうつけても平成50年には半分(人口)になるんだから道路もこれ以上いりません。車も半分になる。

まだまだ道半ばなのかもしれませんが、団塊の世代の私からみると良い時代になったのではと思います。

社会通念を変えて行くことはなかなか困難。様々な制度も単に男女を平等にするだけでなく、ジェンダー、特に女性の役割(家庭内等)に配慮されたものではないと利用されにくいと思う。

「男女平等」という言葉に捉われず、女性の良い所、男性の良い所それぞれをお互いに尊重し合えるそんな環境作りを(教育、法律改定、メディア流布)していくことが男女平等だと思う。

未だ女性自身が社会の中で責任ある地位につき男女平等に働いていく事に能動的でない人が多い。女性の物の考え方を変えることからやらないとダメだと思う。

パートに出た場合、扶養控除の枠内で働く事がとても大変。103万以下だとほとんど働けず、まるで女性は働くなと言っているかのようでとてもイヤです。130万まで抑えながら仕事をする事、それ以上働きたくても、そこまでの時間、子育てしながらは働けず、税金ばかりとられるという思いばかりです。子供が成人するまでお金がかかるので、もっと働きやすい制度で見直してほしい。103万だとほんとに困ります。

良く分かりませんが、経験した事で、職探しの時、女性、母子家庭は非常にバカにされ、気分が悪かったです。

このアンケートを通して、男女が平等でない様に感じました。女性が男性よりも差別されているかの様なアンケート内容で、あまり気持ちのよいものではありませんでした。女性から見れば、男性がうらやましく思えたり、またその逆も多数この世の中には存在します。男性、女性やはり役割分担は違います。それぞれの特性を活かした社会を作り上げる事が、男女平等な社会へと発展してゆく近道だと思います。

人間本来の姿として、男性は家族を養う、(食料を調達するために狩りに行く)、女性は子供を産み、育てる(子孫繁栄)というのが自然に逆らわない姿だと思う。女性が社会に進出する、男性と同等な職につくのも素晴らしい姿だが、子育ても立派な仕事だと思う。自分の子が、せめて歩けるようになるまでは母としてしっかり自分が育てたいと思わないだろうか。

まだ企業では、育児休業は名前ばかりで実際快く育休が取れるという現状ではない所もある。会社を一度やめて、再就職するとなると手に職の無い女性が働くとしたらパートがほとんどになってしまう。女性は子供を安心して、産める制度を伊那市でも実施してほしい。地域から(伊那市から)子供の産みやすい市として国のモデルになるような制度を作ってほしい。現状は、フルタイムで働くには残業がつきもの。時間外の保育園。子供が具合が悪い時のバックアップ。などなど、働く女性の意見をもっと聞いてほしい。暑い中でのお仕事お疲れ様です。いつもありがとうございます。

男性、女性が家庭、地域、職場において、全て同じ条件、対等な立場であることが男女平等(男女共同参画社会)だとは思いません。それぞれ得意不得意があると思いません。人として尊重することが大事ではないかと思います。お互い尊敬し、協力し、感謝しながらすごせると良いと思います。

子育てをしながら仕事をする事は、女性の方に負担が多くかかると思う。男性が協力できる体制を作り、男女の負担の差をなくしてほしい。

女性はもっと声を上げるべき。男性は耳をかたむけるべき。

自治会等地域での活動を見ていると会社、仕事の場以上に男性の社会になっている様に思います。役に応じて男女の住み分けが多いのかもしれませんが、地域にもっと女性が参加しても良いと思います。

地域の役が男性中心になっている。女性が参画し易い環境作りが必要だと思う。

理論ではわかっているけど、実際に実施したり行動することは難しいと思います。現在の世の中、見ていると女性が家庭の中でしっかりしていると、うまくいっているようにみえます。それだけ現在の男性の弱体化(?)が進んでいるのかも時々不安になります。

わが家では息子夫婦と孫、私と4人家族です。男だから、女だからはぜんぜん気がついた人がやる。今の所あらゆる面で問題ありません。

私は73才の主婦ですが、最近色々な活動の場所に出て見ても感じる事がよくあります。それは(定年後の男性の元気が無いことが気になります)女性は平均買い物を始めどんな会にも積極的に出ようとするが、男性は自分の為である健康維持すらいやがる人が多いです。男女共同参画とは人の一生のどこを目的とした物だったのでしょうか、、、。やはり男と女はどちらが強すぎても成り立たないのがこの世でしたら性の役割分担がある様に、平等とは心の貴さの違いの様に思います。

政策上、「男女共同参画」という言葉がひとり歩きしているような気がする。大企業となれば実践も可能であっても中小企業ではマタハラなど実際相当件数あり、当人はひたすら我慢し続けているのが現状だ。言葉ばかりではなく、具体的な対策に力を入れて欲しい。

まだ今の日本には男尊女卑の考え方が残っている気がする。海外の様に、女性がもっと議会等で影響力を持って、男女の差を無くしていくべき。教育の場でも、女性の権利を学習させるとか、、、。

男だけでは気付かない事、逆に女だけでは気付かない事がいろいろな場面、場所であると思うので、男だけ、女だけの会議等は極力なくしていき、共通の話題が出来れば良いと思います。アンケートだけでなく、実際に取り入れてもらえる市政を期待しています。

育児休業が定着してくると新卒の女性採用が減る現実。新卒の若者がきちんとした職に就きづらくなるのも今後更に増えるのでは？長い目を見た場合、若者がきちんとした職に付いていく事は、社会の活性化、福祉の安定化など活気ある地域づくりには、今なんらかの打ち手、仕組み作りが必要だと思います。女性の参画については、大いに進めて欲しいと思いますが、その裏にある部分をどのようにフォローして行くか？先手を打っていくことを希望します。

男女でそれぞれ得意とする分野は違うので、それぞれの良い所を活かして協力してこそ共同参画となり、互いの不足する部分を補って思いやりを持つ事が大切だと思う。家事が得意な男の方に家事の協力をお願いして助け合えばうまく行けど、うまく出来ない、どうしてもやりたくないのに手伝ってもらっても悪い結果になってしまう。その辺のバランスを取りながら調整していくのは個人差も大きく難しいと思う。そのうえで行政や民間が協力して参画しやすい制度や施設でバックアップしてほしい。

最近の30代より若い人はいいのだけれど、明治生まれ～昭和20年までに生まれた人たちには、考え方が古かったり男尊女卑の教育を受けてきた人なので、今の”教育”が大切なのだと思う。年寄りの方々には、理解できないようだが”男女共同参画”ということをもっと理解してもらえるとよいのでは、、、。年寄りだけでなく企業の社長とか自営業の経営者とか社会的地位の高い人。

女性が男性と同じ仕事をして評価が女性は男性以上だとしても評価の対象外になることが多いと感じます。結婚するとすぐに”出産してやめる”んだらうという意識がまだ社会全体で強いと思います。そういった「女は家で男を支えるべき」の考えを会社の上に立つ人間から変えていかなければいくら法律が色々決まっても意味をなさないと思います。女性に限らず男女ともに家庭も社会も支えられる社会になっていくことを望みます。

このアンケートはすべてにおいて女性をばかにした設問としか思えません。

女性に参加頂きたくてもすすんでやって頂ける方、適任の方が少ないと感じる。

肉体的な部分で生理等女性特有のモノがある中できちんとこなせていけるとは思わない。出来る人に出来るのだろうけど現実社会において我々はその教育を受けていないし女性が権利を主張するが義務を果たせてとは思わない。欧米での良いトコ取りでうまくいくとは思えない。後20年位でそういう社会になれば良いです。今は個人も企業も周りの目を気にしながら共同参画をしているところの方が多様な。木を見て森を見れない女性の方が今はまだ多いと思います。

基本的には、男性の役割、女性の役割はあると思います。私は男は女をいじめてはいけない(守る)と小学校、中学校の先生から教わりました。小、中学校の教育が大切かと、、、。

日本は男女平等の意識が低いので男女共同参画社会になるのには、まだまだ時間がかかると思います。男女雇用機会均等法が整備され会社がきちんと適用してくれたとしても家庭内での協力がなければ女性の負担は増えるばかりで役職を目指そうなどは考えられないのが現状だと思います。社会の意識を変えるには子どもの頃からの意識付けが重要で私達が示していかななくてはいけないことです。そして次の世代、その次の世代の頃、家庭での役割分担が当たり前前の社会になって男女共同参画の社会になるのだと思います。

男女共同参画社会と言われ出してから15年以上も経過しているのに、国、県、市の議員の女性が占める割合が大変少ないと感じます。又、各種団体の役員構成の中でも女性が占める割合も少なく意見を取り上げられることもあまりないと感じます。家庭内での男女の役割分担は勤務先との関係もあり一律にはいかないように思います。公務員のみが男女共同参画社会のモデルになっても他の企業(特に中小企業)はなかなか同じようにはなっていないと感じています。

男女共同参画という言葉聞いてからずいぶん長くなりますが、今の日本はまだだと思います。最も身近な最近の例では伊那まつりの招待客はほとんど男性ばかり。これはなぜでしょう。伊那市は子育て支援日本一と言われているようですが、若い保母さんの勤務状態の過酷さに驚きます。市の財政も苦しいのでしょうがプレミアム券を増発して税金をばらまくより、保母さんをもっと多くするとか、保育所も通わせにくい所に統一しないで宅老所(デイサービス)と保育園を隣接させて小さな施設を増やし、若いお母さんが預けやすいようにするなど女性が働きやすい社会にしてほしいです。又子育て支援センターでは、そこに行けるお母さんは余裕のある人が多いのが現状ではないでしょうか。朝早くから働かなければならない若いお母さんにも育児に必要な知識を持ってもらったり話し合いの出来る場を持つ為にも男性の意識を変えてもらいたいです。男性も女性も家事をバカにせず、もっと家事力を身につける教育を義務教育ばかりでなく、高校に入ってからもあるような社会になったらいいと思います。

できるだけ家事を分担していただけてもちがうので年齢が上にいく程考えが古いので先輩の人に自覚してもらいたい。

女性が安心して子育て、介護、家庭生活を送れるように、男性も仕事、家庭、介護を協力、生活出来る世の中になるといいと思います。自分が60代後半になり、いままで通って来た道が、女性が大変忙しい日々で体調を崩すことが多かったのです。

伊那市ではどの様な事をしているのか、もっと多くの方が出来るようPRする必要があると思う。又すべてに対して伊那はPR不足ではないでしょうか。

15年の間に男も女もずいぶん変様してきている。特に女性は夫、家族、先祖から離れてしまい、一人で生きていける力があるので、気に入らないと自分の立場だけを重要視し、どんどん離婚していき、自由な生き方に走って行く。父子家庭の多くなったこと、夫の親が孫を育てている、母性本能なんておかしくてという時代。学童クラブ、保育所、施設、1/3は一人。土曜日だって働かなくては生きていけない為子どもは預けられる。男の子を持った親は、仕事(職場)、家庭、育児にふりまわされていて、妻に気兼ねをし、現実はとてもきびしい立場におかれている姿にため息が出る。(親側から見て)15年の間に女性が強くなり、逆転している。社会的立場はよくなっているが、自分に感謝する心を育てる教育をしてほしい。

アンケートは集は働き盛りの人に対するアンケートのように思われます。私のように老境深く入り込んでいるものには、どのような共同参画が出来るのか逆にうかがいたい気持ちです。人に迷惑をかけぬように生きる事を第一に考えている者にとって、近頃のように「ホームページを見て下さい」というメッセージは最初から我々老人を除外されていると感じます。以上

普段、男女共同参画について考えた事がありません。もっと考えられる様な機会があれば良いと思います。

女性が社会に出て活躍する事は良い事と思いますが、仕事が生きがいとなって未婚の女性が増えてしまう事は、男性の未婚者を増やし、少子高齢化に繋がってしまうのではないかと心配ある。自分自身の生活も大事ではあるが次世代につなげていくという意識を持つ事もわすれないでほしい。

昔、各地区には青年会という組織があった。祭りなどのイベントには、各地区の青年会が応援に行ったりし、交流を深めた。そこから男女の出会いもあったと聞く。そんな組織があればと思う。「地区の消防団に女性が入ったと聞き、良い事と思っていたら、いつの間にかやめてしまったとの事。なぜ？と聞いた所、消防団で酒を飲んだりする時、セクハラまがいが多く、いやになってしまったらしいとの事。何をすることもむずかしい時代ですかね！！

1985年に「男女雇用機会均等法」が制定されたが30年経っても、平等とは言えない現状があるので、これから先もいかなものかと思う。

女性が社会に出て行くのは良い事と思いますが、そうはいつでも子供の小さい時にママが忙しくしているのもみんな周り(もちろん本人、子供)が大変だと思います。やはり気持ちの安定は必要だと、、、生まれながらにして、男性、女性とわかれてきているわけだから、なんでも平等というわけにはいかないと思う。子供はもちろん1番大切！でも男、女、お互いのそれぞれの役割を理解し、思いやりがなければ何も生まれませんと思います。

高齢であり考えない

もともと男と女の役割が違う。全ての事に対して平等とは行かない。それぞれの視点に立ち選択するしかないと思う。そろそろもう充分なのは、、、。男が男として責任を持っていた時代の方が逆に良かったのではないかと思う事もある。我子に対しての無責任さも、むやみやたらな男女共同参画云々等の賜物かもと感じる時もある。いろいろ言っても、賃金等々は差があり、未婚女性にとっては何も良い事は無い。

50代過ぎの方々には女性にほとんどしていただく事が多いように思いますが、若い人たちの方が家事(子育て、食事)を共有しているように感じます。スーパーとかでも若いダンナさんが子どもを抱っこしたり連れて歩いているのをよくみかけるようになりました。在宅で仕事ができる時代になってきたり、若い人たちの子育てを支援してあげられる施設が充実していれば仕事に出ることも可能になると思いますが、保育園に入園するまでは、しっかり家でみてあげてほしいと思います。

日本は、男女共同参画や男女平等という観点について、本音と建前がわかれすぎていて、表面上は推進する形がとられているが、実際はあまり前進していないと思います。長野県には首長の女性は一人しかおりませんし、職場の管理職もとても少ない。またそのことに女性自身も甘んじており、前に出ない方がよい。男性を立てた方がよいという観念が強いと思います。女性はもっと責任ある立場に立ち、女性の権利前進のために頑張れる機会もつくった方がよい。

育児休業中の同僚の仕事の負担が増える事が大変です。若い時そうだったので。(仕事が増えた側です)

日本という国じたいが、まだまだ男女平等と言うのは、言葉だけであって、女は見下されるというさだめなのか？と全てに疑問を感じている。全てが平等になるなんて事が、この日本に訪れるのだろうか？男女平等って、とても響きのよいキレイな言葉にすぎない。本物にしてほしい。すべてが。

地域行政のトップ、例えば市長、副市長、保健所長、消防署長(広域)などのトップに女性登用を図る。ただし、人格、実績が適切な人材の選択が必須。長野県副知事の評価はどうか？つまりこのレベルの責務を負えなければ男女共同参画など形式的な取り組みにすぎないと思われる。

会に参加した事があるが、女性が多く、先だつ男の方々に内容が届くとは思えない。

用語は日本語で表記する事。

近年の家庭では、女性が強い実状は誰もが感じていると思うが、行政の場では相変わらず男性主導であり、日本の国土は相変わらずである。行政が女性活用を強力に推し進めない限り、今後も男女共同参画の改革は進まないでしょう。女性軽視はないが、すべての面で均等な参画の場を造るべきである。特に地域の慣習、しきたりは大きな弊害であり、一步一步改善して行く必要がある。

何でも男女平等を叫ぶのではなく、男性、女性双方の得意分野を活かして、男女共同参画につなげるべき。女性も男性も守ってもらって当たり前という考え方を持っている人も多くおり、男も女も本当の意味で自立していかなければ、男女共同参画社会は実現できないと思う。その支援をするのが行政の役割です。

今日においては、男女が不平等という事は少しも感じない。強い女性もおれば、弱い男性も多い。しかしながら、女性は男性との明らかな違いがあるから、育児も力仕事も、同数でなくてはという事にはならない。嫌な事は、強制はできないが何にも法規則を強化してまで、共同参画を進める事はどうかと思う。とにかく自由な社会であるから、むしろ女性が自ら、嫌な事は嫌と言ひ、欲しいものは勝ち取れば良いと思う。このアンケートは、誰が提案したものだろうか、男か女か？市長か。ようするに女性は、もともと強い者であるとした教育がされていれば問題は無い。

第一に女性側の意識改革が大切ではないか、、、。例)私は女だからできないと仕事をしないという女性が多い。男なんだからやりなさいという女性が多い

自分の身の回りで実際に困っている人を見かけない気がする。もしくは気付けないでいるのかもしれない。犯罪や報道によって知る事は、少し特殊な事としてとらえてしまう。このアンケートの項に記入しながら、改めて日常生活の中で意識していなかった事を知り、良い機会であったと思います。

人間は、平等でなくてはならない。しかし、男、女にはそれぞれできること、できないことがあり、何でも平等というのはおかしいと思う。私には、義務を果たさず権利ばかり主張しているように見えてしまうことがある。

特別に「男女共同参画」として取立てなくても誰でも協力できることは前向きに協力する考えを持つ事が大切。

子育て(1~2歳児)は女性の仕事と思う。男性がなかなか参加しにくい。(おむつ、授乳等)何か良い施設等がないものか。あってもお金がかかり、賃金よりかかるのではないか。子育て(1~2才)中には、育児手当等が必要ではないか。

派遣社員、正社員などの問題も考慮すべきだと思います。

個々の責任をしっかり持つこと。老後の生活になって、一人が病気になる様になり何から何まで身の回りの事の大変さを身に持って感じてみると、世の中色々の制度があって本当にありがたく思います。

「男性、女性」全く区別なく、その人個人個人の生活環境(子育て、介護など)に合わせた社会(勤務先、家庭、地域)との関わり合いが、密にできるようになると良いと思ってます。しかし、男性、女性はやはり体力的な問題や出産など、いろいろ違いがあるので全てを平等にするのは不可能だと思います。私自身の課題として、未婚で少子化には貢献しておりませんが、権利の主張をする前に、まずは責任を果たせる社会人として生活して参りたいです。

地域の集会所を建て替える時、建設委員会の委員に女性数人に入っていた。女性から出された意見や考え方等、図面に入れる事ができ、使いやすいすばらしい集会所ができた。女性、男性お互いに持ちつ持たれつが良いと思う。

男女共同参画という言葉をあえて使わない。自然に男女が平等であり、性の違いを理解しながら、女性ばかり優遇するのではなく、女性、男性の弱者をなくす考えになって行くといいと思います。家庭の仕事も外の仕事も平等であり、お互いいたわりあえるといいと思います。家庭にいることが弱者だと思われることがどうかと思います。

男女共同参画とても良い事と思います。私の職場は男女感ではなく、若者と年配者の差別、上司が総合職と一般職を差別します。(仕事内容は全く同じ)やきもちで言っているのではなく、そんな差別があって良いのかと思われま
す。施設なのだと思います。いわゆるパワハラがこの業界であるのが残念です。またこの様な事を書いても行政は
なかなか動いてくれないのが実情です。どうか動いてください。差別は絶対良くないです！

家庭での男女の役割の意識は遅れている。周りの人たちの認識も古く、嫁がやる前提で話が進んでいる。男の人
達が自分達でやる意識が低い。いくらフルタイムで働けても、家庭での時間が取れず、家庭が回っていかなくなる。

家庭を含めた幼少教育から男女平等についてしっかり教育がいき届くかどうかで次世代の考えをきちんとした形に
できるか決まるので教育を第一に力を入れるべきと思う。家庭では知らないうちに男尊女卑の考えが浸透しているこ
とが可能性としてある。

出産後の女性がいかに早く社会に出るか、職場に復帰するかはばかりが取りざたされているように思いますが、生
まれた子どもと両親家族がどれだけ長く一緒にいる時間を作れるかが大切だと思います。社会制度の整備もそうい
う視点で充実させていってほしいです。それは女性が長く家にいて子供の面倒を見れば良いと言うものではなく、
父親や祖父母も含めて家族みんなで子供と接する時間を長くし、いつも見守られているのが、自然と子供に伝わる
環境を整えて行く必要があると思います。そうしないと他人のことを思いやることができない、自分勝手に優しくない
人ばかりが増えていくと思います。こうしたことは、女性の社会進出、平等とは決してベクトルは違っていません

保育園や学校給食など、女性が安心して働けるよう、整備してほしい。全て正規労働者にすることが求められると思
います。

やはり通っている学校にも「女はダメ」と言い切る教授(男性)もいるため、そういった人に対しては「もう少し、男女平
等の権利」を認めて欲しいとは思っています。しかし仕事の面では体格、体力、脳構造的に向き不向きはあるも
のだと思うので、「平等な雇用機会」とはいいますが、ちゃんと「女性が社会に貢献するためにはどうするのがよいの
か」考えていくべきだと感じます。

掛け声ばかりでなく、行政で一步を踏み出すべき。何からやるのかを決めて。

まずは住み良い地域作りをすること。若い者が上伊那に定住できるようにする。過疎化が進んでいることが気にな
る。年金者の暮らしの安定。移住者対策、災害対策にハザードマップ活用。自治体(公の団体)と補助金問題、イン
フラストラクチャーの設置、負のスパイラルがない為に骨格を作ること。

私は、他県より嫁に来て義母と同居しました。主人には家事に参加をお願いしようとする義母の目が厳しく難し
かったです。義母が80才台になり、やっと今少しづつ参加してもらっています。共働きを主人に希望され嫁に来て、
家事と外での仕事は本当に大変でした。男の子2人と女の子1人を育てましたが、男の子には家事が出来るようにし
ました。私には長野県がこういう所とあきらめていました。

男女共同参画には、特にありません。私は別な面で、市役所に伺う事が良くありますが、職員が多すぎるといつも
思っています。電算化の進んでいる世の中で、あんなにザワザワ並んでいるのもいかなものかと思えます。税金
だから痛くもかゆくもないかもしれませんが、もう少し職員を減らすべきだと思っている一人です。

女性だから、男性だからと分けるのではなく、一個人としての働き、能力に目を向けるべきである。例えば会社やイ
ベントの受付などは女性でなくても可ではないでしょうか。つまらない事ではありますが、日本にしかない夫婦茶碗
ですが、茶を飲むのもごはんを食べるのも差が無くても良いのではないかと思います。多く食べたければ、おか
わりすれば良いので、、、。

あらゆる場面で、男女の差があってはならないと思いますが、男でないといふかあるいは女でないといふ場面もある。性の
差というのか。

私の地区では区の役員に女性はいません。男性になるべきとの昔からの考えが今も根強く残っています。家庭においても私が嫁に来た当時は、主人が少しでも台所に立とうものなら義母から私がしかられました。そんな思いもあり、子供達には男性も家事育児の参加、女性は男性が家事育児をするのが当たり前との考えを持ちすぎではないよう、男の子女の子に教育してきたつもりです。女性の役割、男性の役割をきちんと考えたうえで男女共同参画が望ましいと思いますが、最近の若い女性にはその言葉を自分の都合の良い解釈としている人が多くいるようにも思います。子供の頃からの正しい教育が必要なのではないでしょうか。

男尊女卑の教えで育った60～70代以上の方が、地域で重要な地位についている間は難しいと思いますが、もう少し寛大で柔軟な社会になれば良いと思う。男性にしかできないこと、女性にしかできないことは多々あるので「こうであるべき！」と線引きされると逆にいろいろなことに参加しづらくなってしまふ。

世代による考え方の格差の壁がある。

過去のことであり、男女共同参画などという言葉も考えた事もなく過ぎましたが、未来永劫、男、女の違いは根本的には変わるものではないと考えます。しかし女性の地位向上は望むところであります。

尊厳ある個を「男」「女」と用語して、価値序列的に区分、区別することに根源(諸悪の)がある。「女」「男」は生物学的差異、区分にすぎず、能力差異(価値序列)ではないことを、再認識すべきである。歴史的に醸成されてきた固定的役割分担意識、偏見等による”ジェンダー”は意識改革が必須であり、その定着は時間的展望をもって行われることを必要としよう。「女」「男」にかかわらず、個々の能力を十分に発揮できる社会の実現のため、とりわけ行政にその牽引役を期待する。

過去には地区に婦人会があったが、役員になりてがなく、又婦人会に入れば区の仕事をさせられるとして婦人会は消滅した。

地区活動等の役員へ女性を入れようとしても、夫含む家族の反対が今なお強いと感じる。反面、男性と一緒に役を持って活動している女性の中には「男女共同参画」という言葉を強く否定する方々も結構いることに驚かされる。古き良き時代と現代社会のギャップの大きさを改めて知らされる今日である。上手に文章化出来ずすみません。

未だ中小企業では労働条件がきびしく、男女とも色々な面で大変です。低所得者は男女共同参画とか言ってる場合ではなく、生活の為必死です。ブラック企業など、ちゃんと地域で調べ、まずは一人一人が安心して働ける会社を作り、安心して色々な事を考えられる世にしてもらいたい。仕事、職場は人が生活していくうえで、基盤になることです。もっと調査して暮らしやすい場所を作ってください。

何をやるにしても、女はおさんどんの役ばかり。何か決める場面になると女は閉め出される。意見を言おうとすれば「女のくせに」とか「女なんか出してきやがって」とか「使えない」など、ひどい言葉を投げつけられる。ここにアンケートとして書いても「書かせてやったんだ」「聞いてやったんだ」「言わせてやったんだ」ということにならないようにしてほしい。ちゃんと施策に盛り込んで実行して欲しい。世の中の半分は女だし、パートのおばちゃんが休めばその現場は回らない事例はゴロゴロあるし、「女は機械に弱い」とバカにするくせに洗濯機ひとつも動かさせない。地方の田舎だから男がいばっていいというわけではない。今までいばって生きてきたじいさん方はもう考えを改められないが、男の意識を変えていかないとイケない。もちろん女も男を甘やかしてはいけない。図書館に司書も女性です。経費の節約か何か知りませんが、男の上司が現場も知らずに女をどんどん切り捨てています。世の中はお金だけで動いているのではない。イベントだけが図書館ではない。中学校に比べ、小学校の図書館には図書に関するお金が少なすぎる。少し分けてもらえないだろうか。それこそ男も女も教育が一番の財産なのだから。

いろいろな面で、共同参画を行うことはいい事だと思う。だが、行う方も行わせる方も独りよがりにならない事が大事だと思う。それぞれの「らしさ」を失うことなく「気遣い」をもって行うことが必要だと思う。共同参画というと女性の参画の場を考えてしまうが、女性の場へ男性が参画する場面でも同様の事がいえる。色々な条件、環境、制度、インフラの問題はあると思うが、自分に合えば、参画できる機会があれば参加してみてもいいと思う。

生活が安定していないと協力もむずかしく思います。

父親はどちらかといえば家事等は母親にまかせきりで仕事に一生懸命でした。しかしけっしてトラブルになったことはありませんでした。今の自分達はというと共働きの妻の家事を少しでも助けようと食事の後片付けをしたり、洗濯物をたたんだりしています。父親が生きてきた時代は今の便利さは無く、回りを見る余裕もなく、生活に追われる日々だったと思います。その時代に合った生き方があると思いますが、今私ができる事に頑張り、助けていきたいと思いますが、女性らしさも妻にはなくしてほしくないと思っています。

現在の社会の中ではまだまだ男尊女卑の考えが残っているように思われる。男女は平等であることを小学校から徹底して教育することが大切だと思う。

参加する女性の人数、割合の数値を満たして、女性も社会参加しています、ではお粗末。男性でも女性でも、その役割にふさわしい人であればよしという考え方になるのが男女平等な共同参画と思う。数合わせで、何のバックアップもなしに参加させられるのは負担が増えるだけで迷惑に感じます。

男女共同参画も大切だとは思いますが、昔からの女性のする事、男性の仕事を忘れてはいけないと思います。決して反対ではありません。

共同参画というが、女性が男性と同じように仕事に没頭したい人は、どの位のパーセントなのか、ごくわずかな人が男性と同じ様に見て欲しいと思っているのではないか。女性は家の事もきちんとしたいし、仕事も(勤め)したいので、大きな責任を持つような仕事にはつけないと思う。本当に仕事が好きな人(できる人)は男性も認めているのではないか。

母の時代(70代)は、女性の地位が低く、家でも地域、職場でも金銭面、意識の面、でもとても苦勞し、子供達を育ててくれました。今はいい時代になったと思います。反面、男の人が家庭、育児に関わる事は意識の面だけでなく、社会的にもまだまだ難しいと思います。復帰できるのか、同僚に迷惑をかけないか、金銭面でやっていけるのか、難しい課題は多いです。核家族も多く、女性だけでは不可能だと思います。お互い思いやれる社会、世の中になればいいなと思います。

今、上に立って考えている人間が高年齢すぎて、現実を何もわかっていない。頭が古いまり固すぎる。柔軟に若者や子育て世代の言葉を聞くべきである。時代は常に変化し、常識が変わって行く事もあるのだから。何が案を作るだけでなく、作ったら率先して市政が行動して行くことが、他に広がっていく一番良い方法である。

育児をしながら、働きやすい環境がほしいと思う。時間を短縮できるとか、そういう企業には行政がサービスするとか、女性は子供がいるというだけで男性より不利な事が多いと思う。

東京から移住してきましたが、コミュニティー(自治分など)での男性の女性に対する目線の異いにびっくりしました。(女だからとバカにされる)
